

《看護学部》アドミッション・ポリシー

本学は、「医療人たる前に、誠の人間たれ」という建学の精神のもとに、地域医療に貢献する医療人育成を使命として設立されました。学則には、「まず人間としての教養を高め、十分な知識と技術とを習得し、更に進んでは専門の学理を極め、実地の修練を積み、出では力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献する」ことが掲げられています。看護学教育・教養教育を通して、優れた資質と深い人間愛を有する医療人、研究者、人格的に成長できる人材の育成が、本学の目指すところです。

看護学部では、次のような人材を求めています。

1. 人々との相互関係に関心をもち、人としての尊厳を重んじることができる人
2. 人の不安や悩みを自らの問題として受け止めることができる人
3. 自然環境との共生と防災への構想力をもつことができる人
4. 自然科学と社会科学の学びから自己の成長を図ることができる人
5. 大学教職員とともに地域社会に役立とうという意思をもつ人

上記の資質を備えた多様な人材を募るために、一般入試、推薦入試、社会人特別入試、編入学試験を行います。入学志願書や高等学校からの調査書に基づき、本学において看護学を学ぶ上での熱意、向上心、これまでの成績や学習態度を確認するとともに、いずれの試験区分においても面接試験を実施し、他者と協働して学ぶ資質やコミュニケーション能力を備えているか確認します。

一般入試では面接試験のほか、高等学校で履修する国語、外国語（英語）、数学または理科の筆記試験により、入学後の修業に必要とされる読解力、思考力、知識を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか総合的に判断します。

推薦入試および社会人特別入試では面接試験のほか、高等学校で履修する外国語（英語）の筆記試験と小論文により、入学後の修業に必要とされる読解力、思考力、表現力を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか総合的に判断します。

編入学制度は、高い目的意識をもった看護師免許を取得している者を受け入れ、学びの機会の提供と、学位取得を希望する者、保健師または助産師の受験資格等取得を希望する者への門戸を広げるための制度です。選抜試験においては面接試験のほか、看護専門科目、外国語（英語）の筆記試験により、入学後の修業に必要とされる基礎的専門知識、読解力、思考力を確認し、本学において学ぶ姿勢が備わっているか総合的に判断します。

なお、入学者の受け入れにあたっては、民族、宗教、国籍、性別および性的指向などを問わず、多様な人材を募集します。

《看護学部》同窓生子女特別入学試験

募集人員 若干名

出願資格

次の要件をすべて満たしている者

1. 高等学校または中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を平成30年3月に卒業した者、および平成31年3月卒業見込みの者
2. **調査書の全体の評定平均値が3.5以上**の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ看護者となるにふさわしい幅広い資質を備えた者
3. 合格した場合、入学を確約できる者
4. 原則として3親等以内の親族に圭陵会員（本学同窓生等）がいる者
5. 上記4以外の圭陵会員（在学中の学生を除く）の推薦を経て、圭陵会会長が承認する者

入試日程・試験場

出願期間（消印有効）	平成30年10月29日（月）～11月7日（水）
試 験 日	11月18日（日）
試 験 会 場	本学：矢巾キャンパス
合 格 発 表 日 時	11月26日（月）16時
入 学 手 続 締 切 日	12月7日（金）

選抜方法

試験結果、ならびに出願書類により評価を総合的に審査し、合格者の選抜を行います。

時 間	9：00～9：50	10：10～11：00	11：20～
教 科	小論文	基礎学力試験 外国語 (100点)	面 接
科 目		「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ」 「英語表現Ⅰ」	1人あたり15分程度